

クララ

【 *Sophora flavescens* 】

科名 マメ科

属名 クララ属

薬効・用途

根（苦参 クジン）は、消炎、利尿、駆虫薬に用いる。毒性があり、素人は使用すべきでない。かつて、疥癬やうじ虫駆除に使用された。三物黄芩湯、消風散などの漢方方剤に配合される。



・花期：6～7月

備考

夏緑性の多年草。本州～九州、朝鮮、中国に分布する。草原などの日当たりのよい場所に生育する。和名は、根の汁をなめると目が"くらくら"するほど苦いことから、眩草（くららぐさ）と呼ばれ、これが転じたと言われる。両性花。